

駒ヶ根民報

No.1339
2015.4.26
日本共産党
駒ヶ根市委員会
Tel 83-2969

駒ヶ根市議選、無投票で、 共産党議員団は2議席確保で きました。大きなご支援、ご協 力ありがとうございました。

4月19日告示された駒ヶ根市議会議員選挙は、定数15人の届出で無投票になり2人の共産党候補が当選しました。日本共産党駒ヶ根市委員会は、駒ヶ根民報号外で市議会議員選挙の基本政策を発表し、この4年間の実績と課題、これからの駒ヶ根市を、「くらしと福祉、子育て応援の市政に」「平和の声を地方から、憲法9条の精神で、市民の命とくらしを守る市政」へ提案してきました。ご支援ありがとうございました。

共産党議員団

坂本やすひこ(5期)

竹村ほまれ(2期)

今後4年間がんばります。よろしくお願ひします。

険料に法定外繰り入れなどにより負担軽減を図ります。

また社会保障の切り捨てに反対し、高齢者や社会的に弱い立場の方々の福祉に力を尽くします。

◇日々運行する交通網(バスなど)の幹線定期運行を復活するなど、市民生活の足を取り戻し、竜東振興にも力を注ぎます。

◇地震・豪雨災害・雪害等、防災対策を強め、インフラ整備の充実をはかります。

◇公共事業は生活に密着したもの優先し、地域活性化に効果がある住宅リフォーム助成制度を拡充します。

◇リニア建設は、住民の生活や、自然破壊をもたらした地域社会に深刻な影響を及ぼす恐れがあり反対します。

◇農業と地域経済を壊すTPP(環太平洋連携協定)に反対し、市内農業の再生と自給率向上をめざ

します。
◇原発の再稼働には反対し、ただちに廃炉!

◇太陽光発電や小水力発電など自然エネルギー活用に補助制度を拡大し環境にやさしいエネルギー政策の実現に努めます。

◇庶民の生活を壊し、格差拡大を助長する消費税には反対の立場で行動し、財源は別の道を提案し市民の暮らしを守ります。

以上

選挙ハガキ、2派だけが有権者に届く

選挙用ハガキの取り扱い郵便局である駒ヶ根郵便局への選挙用ハガキの持ち込みについては、土曜・日曜は取扱いを行わないとの説明がありました。2人の候補者(中坪宏明候補と竹村ほまれ候補)が19日の日曜日に選挙ハガキを郵便局に持ち込み、これを駒ヶ根郵便局の休日窓口において受理したため、無投票となった後の20日にこの2派の選挙用ハガキが有権者宅に配達されました。選挙は19日で終了となり、

20日以降にハガキは出せません。

選管の説明を遵守した候補は不公平に

説明通り投函日を守った候補者が有権者に政策を訴える機会を逸しており、日曜日に持ち込んだ候補者との間に不公平が生じているとの訴えがありました。

駒ヶ根郵便局は、19日は受け付けないと言っていたが...

選挙用ハガキの取り扱いについての説明は、資料提供も含めて駒ヶ根郵便局が行いながら、郵便局が説明内容と違うまったく正反対の対応をするとは許されることではありません。

選挙管理委員会の反省と今後の対応

事前の調整によりこうした事態を未然に防ぐこともできた可能性もあり反省の点がある。再発防止に必要な措置を取っていく。

公職選挙法では、19日の告示日からハガキの持ち込みが出来るようになっており、法律どおりの対応を郵便局がするべきです。